

# 学研【ニューコース参考書 中学公民】に古着deワクチンが紹介されました



**考える Column**

## SDGsはなぜ採択されたの？

世界の国々は持続可能な社会を実現するために、持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます。SDGsの実現のために、私たちにもできることがないか、考えてみよう。

**SDGsってなに？**

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、現在地球上に存在するさまざまな問題に取り組むために、2015年の国連サミットで採択された。国際社会の達成すべき目標として、17の目標と169のターゲットが定められています。

日本でも政府の主導のもとでSDGsが進められ、多くの地方公共団体や民間企業、NGO、NPOなどが参加している。

**採用された背景**

世界の人口は2050年には約97億人にまで達するとされている。そのため、食料や資源の不足、工業化に伴う環境破壊、エネルギー・資源の枯渇など、よりも深刻になると予想されている。これらの問題に対応し、持続可能な社会を実現するため、2000年に閣議決定された「SDGs(ミレニアム開発目標)」をさらに発展させた形で、2015年にSDGsが国連で採択された。

**どのような取り組みが行われているの？**

日本では、SDGsの達成に向けた取り組みを促すために、ジャパンSDGsアワードを実施している。第3回ジャパンSDGsアワード(2019年)では、次のような事例が優れた取り組みとして表彰された。

**①国際問題解決する「古着deワクチン」**

「おにぎりアクション」は、「おにぎり」の学童をSNSか特設サイトに投稿すると、1枚につき給食1食が、アフリカチャレンジの子どもたちに届くという取り組みになります。2015～2020年までに約540万食の給食を届けました。

**②古着を集めて国際貢献する「古着 de ワクチン」**

「古着 de ワクチン」を通して送られた衣類を、発展途上国で安く再販売し、現地で雇用を生み出す取り組み。さらに、古着を送る専用回収キットの購入一口につき、5人分のポリオワクチンが寄付される。

222

223

## 調べる どのような取り組みが行われているの？

日本では、SDGsの達成に向けた取り組みを促すために、ジャパンSDGsアワードを実施している。第3回ジャパンSDGsアワード(2019年)では、次のような事例が優れた取り組みとして表彰された。

**●古着を集めて国際貢献する「古着 de ワクチン」**

「古着 de ワクチン」を通して送られた衣類を、発展途上国で安く再販売し、現地で雇用を生み出す取り組み。さらに、古着を送る専用回収キットの購入一口につき、5人分のポリオワクチンが寄付される。

**▲「古着 de ワクチン」 日本リユースシステム株式会社が実施。専用回収キットの封入・発送作業を福祉作業所に依頼することで、障がい者雇用にもつながっている。**